

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」 一市町村票一

【調査の目的】

令和7年度時点における、最新の実施状況や、実施段階ごとの課題等の把握を行い、事業の更なる充実、円滑な実施に向けて求められる支援等の内容を明らかにすることを目的として、全ての市町村を対象に実施するものです。

【調査項目】

本調査は、次の7項目について、一体的実施の実施状況及び課題についてお伺いします。

1. 取組み体制
2. 事業実施状況
3. 事業評価・評価結果
4. ICT機器・ツールの活用状況
5. 他組織からの支援
6. 後期高齢者健康診査
7. 後期高齢者の質問票の使用状況

【ご回答にあたって】

※回答は、一体的実施のご担当の方をお願いいたします。

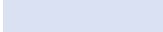
※本調査は、特に注意書きがない場合は、**令和7年10月現在**での状況についてお答えください。


※エラーになるため、シートの名前の変更や列・行の挿入・削除等をご遠慮ください。


※ご回答いただいた結果は、統計的な処理を行ったうえで報告書にとりまとめ、厚労省HPにて公表予定です。

※Webフォームのトップページ下部より、最新版のFAQがダウンロード可能です。適宜ご参照ください。

<回答欄について>

単一選択のセル：  … プルダウンメニューより選択肢番号を選び、回答してください

複数選択のセル：  … 当てはまるもの**すべてに「○」**を入れてください

自由記述のセル：  … 数字や文字列（文書）などを記載して回答してください

※行の縦幅は変更可能（横幅は不可）です。

表示スペースが足りない場合は適宜ご活用ください。

※グレーで網掛けになっているセルは一定の条件を入力すると回答できる仕組みになっています

【回答期限】

2025年11月19日（水）

【お問い合わせ先】

（株）三菱総合研究所 担当：馬杉、森田、柿沼、望月

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査 事務局

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

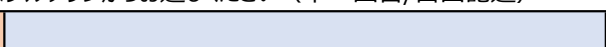



TEL：0120-919-996（平日10-16時 ※12-13時除く）

MAIL：ittaiteki-survey2025@ml.mri.co.jp

回答者情報、一体的実施の受託状況をご入力の上、該当する「調査票」シートにお進みください。

■ 回答者情報

- 都道府県及び市町村名についてお答えください。※プルダウンからお選びください（単一回答/自由記述）

都道府県名	
市町村名	
後期高齢者医療 保険者番号(8桁)	
日常生活圏域数	

- 回答いただく方のお名前、ご所属、ご連絡先についてお答えください。（自由記述）

回答部署名	
役職	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■ 一体的実施の事業受託開始時期

- 一体的実施に関する広域連合からの事業受託開始時期についてお答えください。（単一選択）

受託開始時期

	1. 令和7年度までに受託開始
	2. 令和8年度から受託予定
	3. 令和8年度以降も受託未定
	4. 過去に受託していたが、現在は中止（今後も未定）

→ 1 または 2 を選択した場合は

Q 1 から回答を開始してください

→ 3 または 4 を選択した場合は

Q23から回答を開始してください

※Webフォームのトップページ下部より、最新版のFAQがダウンロード可能です。適宜ご参照ください。
 ※行の縦幅は変更可能（横幅は不可）です。自由記述欄の表示スペースが足りない場合は適宜ご活用ください。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査—市町村票—

※必ずフェイスシート一番下の設問に回答してから、調査票の回答を開始してください。グレーアウトされる設問が変化します。

1. 取組み体制

【令和7年度までに受託開始している市町村は実施状況を回答・令和8年度受託予定の市町村は実施予定を回答してください】

Q1. 医療専門職が保健事業を効率的・効果的に対応するための工夫はありますか。（複数選択）

- 1 ツールやコンテンツの共有
- 2 取組前の研修による理解促進
- 3 定期的な意見交換の機会の確保
- 4 多職種での方針決定や役割分担の相談・調整の機会の確保
- 5 その他 ()

Q2. 企画・調整を行う医療専門職の確保にあたり、工夫した点があればお答えください。（複数選択）

- 1 専任でなく兼務での配置
- 2 採用、増員
- 3 健康増進部門等からの異動で対応
- 4 既存業務の見直し
- 5 組織体制変更
- 6 保健師の配置見直し
- 7 管理栄養士の配置見直し
- 8 広域連合・都道府県等からの派遣
- 9 その他 ()
- 10 特になし

【関係機関との連携内容と状況についてお伺いします】

Q3. 庁外の関係機関との一体的実施に関する連携内容をお答えください。

いずれの連携も行っていない場合は「連携なし」に○をつけてください。（複数選択）

関係機関	一体的実施に係る連携内容										連携なし
	情報の共有	参加課題の分析への	実施方法・体制検討	（事業委託を実施含む）への参加	事業等の派遣の医療専門	勉強会・セミナー等	加研・研究会 / 会議への参加	事業の評価への参加	その他の連携		
① 広域連合											
② 都道府県											
③ 国保連合会											
④ 医師会											
⑤ 歯科医師会											
⑥ 薬剤師会											
⑦ 看護協会											
⑧ 栄養士会											
⑨ リハビリ職能団体※1											
⑩ 歯科衛生士会											
⑪ 医療機関											
⑫ 地域包括支援センター※2											
⑬ 社会福祉協議会											
⑭ 大学・研究機関等											
⑮ 商工会議所・商工会											
⑯ その他 ()											

※1 理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 等

※2 直営を除く

■連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、連携内容をお答えください。（関係機関と連携内容：自由記述）

Q4. 「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑯の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

i) 連携が十分に図られているか（単一選択）

ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.おおむね連携できている」と回答した場合、連携に当たり工夫したことを具体的にお答えください。（自由記述）

(関係機関)	i) 連携が十分に図られているかどうか	ii) 連携に当たり工夫したこと
① 広域連合		
② 都道府県		
③ 国保連合会		
④ 医師会		
⑤ 歯科医師会		
⑥ 薬剤師会		
⑦ 看護協会		
⑧ 栄養士会	⇒①～⑯で、1あるいは2と回答した場合	
⑨ リハビリ職能団体		
⑩ 歯科衛生士会		
⑪ 医療機関		
⑫ 地域包括支援センター		
⑬ 社会福祉協議会		
⑭ 大学・研究機関等		
⑮ 商工会議所・商工会		
⑯ その他		
⑯ その他の機関名		

【一体的実施の取組の強みについてお伺いします】

Q5. 貴市町村において、一体的実施の取組における強みはありますか。(複数選択)

- 1 担当者の職種や人数等が充実している
- 2 担当者のスキルが高い
- 3 マニュアル等を整備しており、業務に必要な知識等を補完できている
- 4 研修会等の機会が確保されており、業務に必要な知識等を補完できている
- 5 庁内関係部局との連携がスムーズにできている
- 6 近隣市町村と情報交換ができている
- 7 広域連合と活発な意見交換が可能な関係性にある
- 8 広域連合からの支援が充実している(研修会や個別相談対応等)
- 9 国保連合会からの支援が充実している(研修会や個別相談対応、データの提供・解説等)
- 10 都道府県の担当窓口が明確で調整等がしやすい
- 11 都道府県や保健所による助言等の支援が得られる
- 12 都道府県や保健所から実施の際の協力が得られる
- 13 関係団体からの助言等の支援が得られる
- 14 関係団体から実施の際の協力が得られる
- 15 関係者が集まって意見交換や研修を行う機会を有している
- 16 その他 ()
- 17 特になし

2. 事業実施状況

【令和7年度までに受託開始している市町村は実施状況を回答・令和8年度受託予定の市町村は実施予定を回答してください】

【委託料の交付有無についてお伺いします】

Q6. 一体的実施の事業受託にあたり、広域連合から委託料の交付を受けていますか。また受託予定の市町村については、受ける予定がありますか。(単一選択)

- 1 受けている(受ける予定がある)
- 2 受けていない(受ける予定がない)

【ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチの状況(※)についてお伺いします】

※ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチは、「後期高齢者医療の調整交付金の交付額の算定に関する 省令第6条第9号に関する交付基準について」(令和5年4月7日付け保発0407第1号)に示す高齢者に対する個別支援(ハイリスクアプローチ)及び通いの場等への積極的な関与等(ポピュレーションアプローチ)の取組を指す。

【ハイリスクアプローチについてお伺いします】

Q7. ハイリスクアプローチについて、今年度中の実施の有無(実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」)、実施圏域数をご記入ください。また、実施している場合は委託による実施か、対象者の抽出についてお答えください。また受託予定の市町村については、現段階での予定をお答えください。(複数選択)

※対象者の抽出に当たり複数の基準を併用している場合は、活用頻度が高いものをお選びください(対象者の抽出:単一選択)

実施項目	実施の有無	実施圏域数	委託により実施（市町村から外部機関への委託（一部委託含む）で実施）	対象者の抽出について		
				一体的実施KDB活用支援ツール※の初期設定条件で抽出（ツールの初期設定と同一条件での抽出も含む）	一体的実施KDB活用支援ツールの初期設定条件で抽出後、更に絞り込みを実施	オリジナルの抽出基準で抽出
低栄養に関わる相談・指導						
口腔に関わる相談・指導						
服薬に関わる相談・指導						
糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導						
生活習慣病等重症化予防（身体的フレイル含む）に関わる相談・指導						
健康状態不明者の状態把握・必要なサービスへの接続						
重複頻回受診者への相談・指導						
その他①（ <input type="text"/> ）						
その他②（ <input type="text"/> ）						

※一体的実施・KDB活用支援ツール：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

【Q7で、一つでも実施「○」と回答した市町村にお伺いします】

Q7-1. 各事業について、どの指標等で評価していますか。また受託予定の市町村については、評価予定をお答えください。（複数選択）

実施項目	ストラクチャー				プロセス				アウトプット				アウトカム				その他					
	庁内体制	地域連携	保健指導実施体制	その他	実施方法	実施時期	周知方法	その他	きた支援対象者の人数・割合	支援対象者のうち支援で	測定データ（体重、血圧等）の変化	HbA1c等の変化	検査データ（血糖値、要介護認定状況	受診状況	サービスの継続状況	通いの場参加状況		生活習慣の改善状況	質問票データの变化	ヘルシーシヨンの状況	支援対象者の意識・モチ	その他
低栄養に関わる相談・指導																						
口腔に関わる相談・指導																						
服薬に関わる相談・指導																						
糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導																						
生活習慣病等重症化予防（身体的フレイル含む）に関わる相談・指導																						
健康状態不明者の状態把握・必要なサービスへの接続																						
重複頻回受診者への相談・指導																						
その他①（ <input type="text"/> ）																						
その他②（ <input type="text"/> ）																						

■評価指標において「その他」の評価指標をもつ場合は具体的な指標をお答えください。（自由記述）

Q7-2. ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなデータを利用していますか。また受託予定の市町村については、利用予定をお答えください。（複数選択）

- 1 健診結果（後期高齢者の質問票以外）
- 2 健診等の際に取得した後期高齢者の質問票
- 3 通いの場で取得した後期高齢者の質問票
- 4 基本チェックリスト
- 5 市町村独自のアンケート調査等
- 6 医療、介護のレセプトデータ
- 7 その他（）

Q7-3. ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなツールを利用していますか。また受託予定の市町村については、利用予定をお答えください。（複数選択）

- 1 KDB
- 2 一体的実施・KDB活用支援ツール
- 3 その他保健指導システム（具体的な名称：）
- 4 その他（）
- 5 特にツールは使っていない（エクセル等）

Q7-4. 各事業について、主観的な評価をお答えください。（単一選択）

実施項目	事業の主観評価
低栄養に関わる相談・指導	
口腔に関わる相談・指導	

服薬に関わる相談・指導	
糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導	
生活習慣病等重症化予防（身体的フレイル含む）に関わる相談・指導	
健康状態不明者の状態把握・必要なサービスへの接続	
重複頻回受診者への相談・指導	
その他①（ <input type="text"/> ）	
その他②（ <input type="text"/> ）	

【Q7-4で、一つでも「事業の運営が円滑に行えており、効果を実感している」と回答した市町村にお伺いします】

Q7-5. 「事業の運営が円滑に行えており、効果を実感している」と捉えられる要因・事業実施における工夫について、それぞれお答えください。

（※該当する工夫がない場合は「特になし」と記載してください）（自由記述）

低栄養に関わる相談・指導

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

口腔に関わる相談・指導

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

服薬に関わる相談・指導

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

生活習慣病等重症化予防（身体的フレイル含む）に関わる相談・指導

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

健康状態不明者の状態把握・必要なサービスへの接続

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

重複頻回受診者への相談・指導

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

その他①

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

その他②

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

Q7-6. 他の市町村にも展開したい事例があればお答えください。（自由記述）（※任意回答）

工夫等が功を奏した /成功したと感じた事例	
改善すべき点が多かった /対応に苦慮した事例	

【Q7で、「健康状態不明者の状態把握・必要なサービスへの接続」を実施「○」と回答した市町村にお伺いします】

Q7-7. 健康状態不明者対策について、把握した結果及びサービスへの接続の実績について記録を保管していますか。（単一選択）

- 1 把握した健康状態及びサービスへの接続の実績について記録を保管している
- 2 把握した健康状態の記録は保管しているが、サービスへの接続の実績については記録していない
- 3 把握した健康状態は記録していないが、サービスへの接続の実績については記録を保管している
- 4 把握した健康状態及びサービスへの接続の実績について記録していない
- 5 その他（）
- 6 わからない

Q8. ハイリスクアプローチの実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。また受託予定の市町村については、予想される課題をお答えください。（複数選択）

- 1 対象者の抽出基準・選定方法の決定
- 2 目標・評価指標の設定

- 3 対象者の抽出・リストアップ（KDBシステムの活用等を含む）
- 4 医療機関との連携・調整
- 5 他の部課室の事業等の活用
- 6 予算の確保
- 7 企画・調整を行う医療専門職の確保
- 8 地域を担当する医療専門職の確保
- 9 保健指導に係るノウハウ・知識不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 参加者への周知
- 13 保健指導後のフォローアップ
- 14 事業実施後の評価・改善策の立案
- 15 その他（ ）
- 16 課題はない

【Q8で、「1～15」と回答した市町村にお伺いします】

Q8-1. 課題に感じている内容のうち、最も重要な課題だと感じているものを1つお答えください。（単一選択）

Q8-2. 最も重要な課題に対する対策をお答えください。

i) 対策を実施していますか。（単一選択）

- 1 対策を実施している
- 2 現状特に実施していないが、対策を実施する予定がある
- 3 対策を実施したいと考えているが、現状予定はない
- 4 対策は実施しておらず、特に実施する予定はない

ii) 対策（または対策予定）の内容についてお答えください。（自由記述）

実施内容	
実施主体	
今後の予定	

【ポピュレーションアプローチについてお伺いします】

Q9. ポピュレーションアプローチについて、今年度中の実施の有無（実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」）、実施体制をご記入ください。

また受託予定の市町村については、現段階での予定をお答えください。

実施項目		実施の有無	市町村の再委託により実施（市町村から外部機関への委託（一部委託含む）で実施）	
フレイル予防の普及啓発	健康教育	運動		
		栄養		
		口腔		
	その他（ ）			
	健康相談	運動		
		栄養		
口腔				
その他（ ）				
フレイル状態の高齢者を把握し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援等				
健康に関する相談や不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくりの実施				
その他（ ）				

【Q9で、一つでも実施「○」と回答した市町村にお伺いします】

Q9-1. 各事業について、主観的な評価をお答えください。（単一選択）

実施項目		事業の主観評価
フレイル予防の普及啓発	健康教育	運動
		栄養
		口腔
	その他（ ）	
	健康相談	運動
		栄養
口腔		
その他（ ）		

フレイル状態の高齢者を把握し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援等	
健康に関する相談や不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくりの実施	
その他（ ）	

【Q9-1で、一つでも「事業の運営が円滑に行えており、効果を実感している」と回答した市町村にお伺いします】

Q9-2. 「事業の運営が円滑に行えており、効果を実感している」と捉えられる要因・事業実施における工夫について、それぞれお答えください。

(※該当する工夫がない場合は「特になし」と記載してください) (自由記述)

フレイル予防の普及啓発_健康教育_運動

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル予防の普及啓発_健康教育_栄養

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル予防の普及啓発_健康教育_口腔

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル予防の普及啓発_健康教育_その他

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル予防の普及啓発_健康相談_運動

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル予防の普及啓発_健康相談_栄養

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル予防の普及啓発_健康相談_口腔

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル予防の普及啓発_健康相談_その他

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

フレイル状態の高齢者を把握し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援等

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

健康に関する相談や不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくりの実施

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

その他

体制（ストラクチャー）の工夫	
方法（プロセス）の工夫	
その他	

Q9-3. 他の市町村に展開したい事例があればお答えください。(自由記述) (※任意回答)

工夫等が功を奏した /成功したと感じた事例	
改善すべき点が多かった /対応に苦慮した事例	

Q10. ポピュレーションアプローチの実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。また受託予定の市町村については、予想される課題をお答えください。(複数選択)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 目標・評価指標の設定 |
| <input type="checkbox"/> | 2 他の部課室の事業等の活用 |
| <input type="checkbox"/> | 3 通いの場に係る情報収集 |
| <input type="checkbox"/> | 4 通いの場の担い手との連携 |

- 5 通いの場との関わり方
- 6 参加者への周知
- 7 予算の確保
- 8 医療専門職の確保
- 9 健康教育等や個別支援への接続に関するノウハウ・知識の不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 指導結果のフォロー
- 13 事業実施後の評価・改善策の立案
- 14 その他 ()
- 15 課題はない

【Q10で、「1～14」と回答した市町村にお伺いします】

Q10-1. 課題に感じている内容のうち、最も重要な課題だと感じているものを1つお答えください。(単一選択)

Q10-2. 最も重要な課題に対する対策をお答えください。

i) 対策を実施していますか。(単一選択)

- 1 対策を実施している
- 2 現状特に実施していないが、対策を実施する予定がある
- 3 対策を実施したいと考えているが、現状予定はない
- 4 対策は実施しておらず、特に実施する予定はない

ii) 対策（または対策予定）の内容についてお答えください。(自由記述)

実施内容	<input type="text"/>
実施主体	<input type="text"/>
今後の予定	<input type="text"/>

【Q11～Q14は、令和7年度までに受託開始している市町村のみお答えください】

Q11. 一体的実施の取組において、事業の評価として行ったことをお答えください。(複数選択)

- 1 庁内連携の状況の確認・課題の抽出
- 2 地域の関係機関・関係団体との連携の状況の確認・課題の抽出
- 3 事業の実施量（実施回数・参加人数等）を用いた分析
- 4 参加者・対象者の満足度・意見に関する分析
- 5 参加者・対象者の状態像の変化の分析
- 6 成果指標（医療費、要介護認定率等）の変化の分析
- 7 報告書での成果の確認（市町村が事業者等への再委託の場合）
- 8 定性的な成果の分析（成果の内容：）
- 9 その他 ()
- 10 事業開始間もないため評価ができない
- 11 評価を実施していない

Q12. 一体的実施の取組において、事業の評価の活用、事業報告の状況についてお答えください。(複数選択)

- 1 広域連合と評価結果について情報共有し、改善策等を検討した
- 2 庁内の関係部局間で事業評価を共有した
- 3 関係機関・関係団体に事業評価を共有した
- 4 住民に対して、事業の意義や成果について周知・広報した
- 5 事業評価を踏まえ、次年度の事業の実施計画へ反映した
- 6 事業評価を踏まえ、市町村の健康増進や介護予防事業等へ反映した
- 7 その他 ()
- 8 事業評価はしたが、事業報告していない

Q13. 事業実施後に事業の企画・運営上、課題として挙げたことと、挙げられた課題に対して対策・見直しを講じたかどうか

(講じた場合は○、講じていない場合は×) と、対策・見直しを講じた場合の具体的な主な内容 (自由回答) をお答えください。(複数選択/単一選択/自由記述)

課 題	課題として 挙げた	対策・見直し を講じた	対策・見直しを講じた主な内容
事業対象の抽出基準、選定、優先度のつけ方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
実施体制（検討不足、人員不足等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
事業の実施方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
相談・指導の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
事業の実施結果の蓄積、活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
周知の方法や対象者への連絡方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
その他(<input type="text"/>)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>

事業開始間もないため、課題整理ができていない	
------------------------	--

Q14. 一体的実施に取り組んだことで、これまでどのような効果があったと感じていますか。(複数選択)

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 高齢者の保健事業に取り組む体制構築につながった |
| <input type="checkbox"/> | 2 高齢者の保健事業を実施するうえでの後期高齢者医療広域連合との連携ができるようになった |
| <input type="checkbox"/> | 3 健康課題が明確化した |
| <input type="checkbox"/> | 4 庁内外の関係者間の調整や地域医療関係団体との連携が促進された |
| <input type="checkbox"/> | 5 国民健康保険と後期高齢者医療の事業の接続ができる環境が整った |
| <input type="checkbox"/> | 6 地域支援事業（介護保険）と後期高齢者医療の事業を一体的に取り組める環境が整った |
| <input type="checkbox"/> | 7 事業の効率化が図られた |
| <input type="checkbox"/> | 8 高齢者の健康状態や生活機能の課題をより把握できるようになった |
| <input type="checkbox"/> | 9 高齢者への個別的な支援が充実した |
| <input type="checkbox"/> | 10 通いの場等における健康相談が充実した |
| <input type="checkbox"/> | 11 事業目標を課題に基づいて設定できるようになった |
| <input type="checkbox"/> | 12 適切に事業の評価が可能となった |
| <input type="checkbox"/> | 13 その他 () |
| <input type="checkbox"/> | 14 特になし |

3. ICT機器・ツールの活用状況

【令和7年度までに受託開始している市町村は実施状況を回答・令和8年度受託予定の市町村は実施予定を回答してください】

【ハイリスクアプローチについてお伺いします】

【令和7年度までに受託開始している または 令和8年度受託予定 の市町村にお伺いします】

Q15. ハイリスクアプローチを実施する際にICT機器・ツールを活用していますか。(単一選択)

- | | |
|--------------------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> | 1 活用している |
| <input type="checkbox"/> | 2 活用していない |
| <input type="checkbox"/> | 3 活用予定あり |

【Q15で、「1.活用している」と回答した市町村にお伺いします】

Q15-1.

i) ハイリスクアプローチの対象者抽出を実施するあたり、どのようにICT機器・ツールを活用していますか。(複数選択)

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1 PHRデータの収集・分析活用 |
| <input type="checkbox"/> | 2 PHR以外のデータ収集に対するアプリケーション・ソフトウェアの活用 (具体例:) |
| <input type="checkbox"/> | 3 PHR以外のデータ分析に対するアプリケーション・ソフトウェアの活用 (具体例:) |
| <input type="checkbox"/> | 4 その他 () |
| <input type="checkbox"/> | 5 事業者委託しているため把握していない |

【i) で「1~4」と回答した市町村にお伺いします】

ii) 活用したICT機器・ツールのうち、業務効率化や負担軽減、効果的な事業実施に役立ったと感じるものをお答えください。(複数選択)

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1 PHRデータの収集・分析活用 |
| <input type="checkbox"/> | 2 PHR以外のデータ収集に対するアプリケーション・ソフトウェアの活用 (具体例:) |
| <input type="checkbox"/> | 3 PHR以外のデータ分析に対するアプリケーション・ソフトウェアの活用 (具体例:) |
| <input type="checkbox"/> | 4 その他 () |
| <input type="checkbox"/> | 5 役立ったものはない |

Q15-2.

i) 対象者へ保健指導や受診勧奨等の介入を行うにあたり、どのようにICT機器・ツールを活用していますか。(複数選択)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 オンライン上での面談の実施 |
| <input type="checkbox"/> | 2 Webコンテンツの配信 |
| <input type="checkbox"/> | 3 オンラインのコミュニケーションツール活用 (チャット等) |
| <input type="checkbox"/> | 4 健康管理のためのアプリケーション活用 (具体例:) |
| <input type="checkbox"/> | 5 市町村から連絡用のタブレットを配布してコミュニケーションを実施 |
| <input type="checkbox"/> | 6 市町村からウェアラブルデバイスを配布して健康状態を把握 |
| <input type="checkbox"/> | 7 その他 () |
| <input type="checkbox"/> | 8 事業者に委託しているため把握していない |

【i) で「1~7」と回答した市町村にお伺いします】

ii) 活用したICT機器・ツールのうち、業務効率化や負担軽減、効果的な事業実施に役立ったと感じるものをお答えください。(複数選択)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 オンライン上での面談の実施 |
| <input type="checkbox"/> | 2 Webコンテンツの配信 |
| <input type="checkbox"/> | 3 オンラインのコミュニケーションツール活用 (チャット等) |
| <input type="checkbox"/> | 4 健康管理のためのアプリケーション活用 (具体例:) |
| <input type="checkbox"/> | 5 市町村から連絡用のタブレットを配布してコミュニケーションを実施 |
| <input type="checkbox"/> | 6 市町村からウェアラブルデバイスを配布して健康状態を把握 |
| <input type="checkbox"/> | 7 その他 () |
| <input type="checkbox"/> | 8 役立ったものはない |

【ポピュレーションアプローチについてお伺いします】

【令和7年度までに受託開始している または 令和8年度受託予定 の市町村にお伺いします】

Q16. ポピュレーションアプローチを実施する際にICT機器・ツールを活用していますか。(単一選択)

- 1 活用している
- 2 活用していない
- 3 活用予定あり

【Q16で、「1.活用している」と回答した市町村にお伺いします】

Q16-1.

i) 対象者に対するポピュレーションアプローチの実施にあたり、どのようなICT機器・ツールを活用していますか。(複数選択)

- 1 オンライン上での講習会・セミナーの実施
- 2 Webコンテンツの配信
- 3 健康管理のためのアプリケーション活用 (具体例:)
- 4 市町村から連絡用のタブレットを配布して活用 (活用内容:)
- 5 市町村からウェアラブルデバイスを配布して状況を把握
- 6 その他 ()
- 7 事業者に委託しているため把握していない

【i) で「1~6」と回答した市町村にお伺いします】

ii) 活用したICT機器・ツールのうち、担当者の業務負担軽減に役立ったと感じるものをお答えください。(複数選択)

- 1 オンライン上での講習会・セミナーの実施
- 2 Webコンテンツの配信
- 3 健康管理のためのアプリケーション活用 (具体例:)
- 4 市町村から連絡用のタブレットを配布して活用 (活用内容:)
- 5 市町村からウェアラブルデバイスを配布して状況を把握
- 6 その他 ()
- 7 役立ったものはない

【Q15またはQ16で、「1.活用している」または「3.活用予定あり」と回答した市町村にお伺いします】

Q17. ICT機器・ツールを活用している (活用を予定している) 理由についてご回答ください。(複数選択)

- 1 人材不足を補完するため
- 2 業務効率化を図るため
- 3 保健指導の質の向上のため
- 4 対象者にとっての利便性向上のため
- 5 データ収集や評価への活用がしやすいため
- 6 感染症流行期での事業継続のため
- 7 その他 ()

【Q15とQ16の両方で、「2.活用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q17-1. ICT機器・ツールを活用していない理由についてご回答ください。(複数選択)

- 1 財源の確保が困難
- 2 導入に手間がかかり職員への負担が大きい
- 3 適切に機器を扱える職員がいない
- 4 ICT機器・ツールの活用に不慣れな対象者が多いと考えられる
- 5 導入方法がわからない
- 6 現状必要性を感じていない
- 7 検討したことがない
- 8 その他 ()

4. 他組織からの支援

【令和7年度までに受託開始している市町村は実施状況を回答・令和8年度受託予定の市町村は実施予定を回答してください】

【広域連合からの支援についてお伺いします】

【令和7年度までに受託開始している または 令和8年度受託予定 の市町村にお伺いします】

Q18. 広域連合から、令和7年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。(単一選択)

- 1 何らかの支援を受けたことがある ⇒Q19へ
- 2 支援を受けたことはない ⇒Q19のうち、「今後受けたい支援」についてお答えください

【令和7年度までに受託開始している または 令和8年度受託予定 の市町村にお伺いします】

Q19. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化してほしい支援、今後受けたい支援の有無について

該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。(複数選択)

上段で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

支援内容	受けた支援	今後受けたい支援	
		うち有効だった支援	うち強化してほしい支援
広域連合との直接対話	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
課題分析、実施方法等に関する助言や指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特別調整交付金の申請に関わる支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合が開催するセミナー・研修会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※WebフォームではQ19の一部の回答より先にQ19-1以降の設問が表示されますがそのまま表示に従ってご回答ください。

研修等への広域連合職員等の派遣				
広域連合による市町村の健康課題の分析				
広域連合を通じた他市町村との連携の調整				
広域連合を通じた医療関係団体との連携の調整				
広域連合を通じた有識者等の派遣				
その他()				

■その他、広域連合から今後受けたい支援があればお答えください。(自由記述) (※任意回答)

Q19で、1つでも「うち有効だった支援」に「○」と回答した市町村にお伺います。

Q19-1. 有効だった支援のうち、最も有効であったと感じているものを1つお答えください。(単一選択)

Q19-2. 最も有効だと感じた理由をお答えください。(自由記述)

Q19で、1つでも「うち強化してほしい支援」に「○」と回答した市町村にお伺います。

Q19-3. 強化してほしい支援のうち、最も強化してほしいと感じているものを1つお答えください。(単一選択)

Q19-4. 最も強化してほしいと感じた理由をお答えください。(自由記述)

Q19で、1つでも「今後受けたい支援」に「○」と回答した市町村にお伺います。

Q19-5. 今後受けたい支援のうち、最も強く希望する支援を1つお答えください。(単一選択)

Q19-6. 支援を最も強く希望する理由をお答えください。(自由記述)

【令和7年度までに受託開始している または 令和8年度受託予定 の市町村にお伺います】

Q20. 広域連合のセミナー・研修会等で有効だったテーマをお答えください。(複数選択)

- 1 一体的実施に関する国の動き・制度
- 2 データヘルス計画の内容
- 3 当該都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の方向性について
- 4 当該都道府県内の市町村での高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の現状
- 5 当該都道府県内の市町村毎の健康課題の現状
- 6 高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用
- 7 広域連合及び市町村による事例報告
- 8 その他 ()
- 9 セミナー・研修会等を受けていない

【都道府県・国保連合会等からの支援についてお伺います】

Q21. 都道府県・国保連合会等から、令和7年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。(単一選択)

- 1 何らかの支援を受けたことがある
- 2 支援を受けたことはない

【令和7年度までに受託開始している または 令和8年度受託予定 の市町村にお伺います】

Q22. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化してほしい支援、今後受けたい支援の有無について該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。(複数選択)

上段で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

支援内容	都道府県			国保連合会等		
	受けた支援	うち有効だった支援	うち強化してほしい支援	受けた支援	うち有効だった支援	うち強化してほしい支援
一体的実施に関する国の動きの情報提供、セミナー等						

※WebフォームではQ22の一部の回答より先にQ22-1以降の設問が表示されますが、そのまま表示に従ってご回答ください。

地域の課題分析手法に関するマニュアル提供、セミナー等							
KDBの活用に関するマニュアル提供、セミナー等							
上記以外のセミナー ※1 （「受けた支援」は表下の※1に、「今後受けたい支援」は表下の回答欄にも記入してください）							
地域課題の分析に活用可能なデータや資料の提供							
保健事業の実施に関する技術的助言・相談							
保健事業の実施のための専門人材の派遣							
医療専門職派遣による指導等							
医療関係団体との調整							
他市町村との調整							
その他 ※2 （「受けた支援」は表下の※2に、「今後受けたい支援」は表下の回答欄にも記入してください）							

(※1 上記以外のセミナー :)
(※2 その他 :)

■「今後受けたい支援」として「上記以外のセミナー」または「その他」を選んだ場合、どこからどのような支援がほしいか、詳細をお答えください。（自由記述）

※Webフォームでは
Q22_0_4_1～2の表側の
自由記述欄にご回答ください。

Q22で、1つでも「うち有効だった支援」に「○」と回答した市町村にお伺います。

Q22-1. 有効だった支援のうち、最も有効であったと感じているものを1つお答えください。（単一選択）

都道府県	
国保連合会等	

Q22-2. 最も有効だと感じた理由をお答えください。（自由記述）

都道府県	
国保連合会等	

Q22で、1つでも「うち強化してほしい支援」に「○」と回答した市町村にお伺います。

Q22-3. 強化してほしい支援のうち、最も強化してほしいと感じているものを1つお答えください。（単一選択）

都道府県	
国保連合会等	

Q22-4. 最も強化してほしいと感じた理由をお答えください。（自由記述）

都道府県	
国保連合会等	

Q22で、1つでも「今後受けたい支援」に「○」と回答した市町村にお伺います。

Q22-5. 今後受けたい支援のうち、最も強く希望する支援を1つお答えください。（単一選択）

都道府県	
国保連合会等	

Q22-6. 支援を最も強く希望する理由をお答えください。（自由記述）

都道府県	
国保連合会等	

5. 後期高齢者健康診査

※フェイスシートで「3. 令和8年度以降も受託未定」または「4. 過去に受託していたが現在は中止（今後は未定）」を選択した市町村は、
ここから回答を始めてください

【健康診査結果のデータ化についてお伺います】

Q23. 健康診査での結果について、データ化した結果の入力先をお答えください。（複数選択）

1 特定健診システムへの入力（KDBシステムへの登録）

- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力（システム名：）
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他（）
- 5 データ化していない

【Q23で、「5.データ化していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q23-1. データ化していない理由をお答えください。（複数選択）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分
- 5 その他（）

【みなし健診の実施についてお伺いします】

Q24. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していますか。（単一選択）

- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 健診事業は広域連合が主体として運用しているため、わからない

【Q24で、「1.実施している」と回答した市町村にお伺いします】

Q24-1. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、質問票の取り扱い状況についてお答えください。（単一選択）

- 1 協力医療機関の全てで使用（協力医療機関数：）
- 2 協力医療機関の一部で使用（協力医療機関数：）
- 3 把握していない

Q24-2. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用（いわゆるみなし健診）している場合、市町村の工夫についてお答えください。（複数選択）

- 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を医療機関や関係者に提示
- 2 医療機関の負担に配慮した医療機関への依頼業務の調整
- 3 医療機関等への説明会の実施
- 4 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
- 5 医療関係団体に対し、みなし健診の協力の依頼や調整
- 6 被保険者の理解促進のための説明資料の作成
- 7 被保険者に対する本人同意についての周知・広報
- 8 その他（）

【Q24で、「2.実施していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q24-3. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、その理由についてお答えください。（複数選択）

- 1 関係団体・医療機関との調整が困難
- 2 経費の調整が困難
- 3 実施の方法・手順が不明
- 4 本人の同意が得られないと考えたため
- 5 人員不足、業務負担増加への懸念
- 6 広域連合が実施していない、広域連合からの指示がないため
- 7 不要と判断したため →（その理由：）
- 8 その他（）

Q24-4. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、今後の意向をお答えください。（単一選択）

- 1 実施に向けて準備中
- 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中
- 3 実施の予定はない

【健診受診者への結果通知についてお伺いします】

Q25. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。（単一選択）

- 1 全受診者に健診項目の全項目について通知している
- 2 全受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 3 一部の受診者に健診項目の全項目について通知している
- 4 一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 5 通知していない
- 6 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない

【Q25で、「2.全受診者に健診項目の一部の項目について通知している」または「4.一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している」と回答した市町村にお伺いします】

Q25-1. 一部項目について通知をしている場合、通知している項目について回答してください。（複数選択）

- 1 既往歴
- 2 自覚症状及び他覚症状の有無
- 3 身長、体重

- 4 BMI
- 5 血圧
- 6 AST、ALT、γ-GT（肝機能検査）
- 7 血清トリグリセリド（中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロール（血中脂質検査）
- 8 血糖検査
- 9 尿中の糖及び蛋白の有無（尿検査）
- 10 その他、医師が必要と認めるときに行うもの

Q25-2. 全項目を通知していない理由をお答えください。（自由記述）

【受診券の送付有無についてお伺いします】

Q26. 健診受診対象者に対して、受診券の送付をしていますか。（事業者による委託の場合を含む）（単一選択）

- 1 健診受診対象者全員に個別に送付している
- 2 広報誌等で健診について周知の上、希望者に対し送付している
- 3 個別の受診券の送付はしていない
- 4 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない
- 5 その他（ ）

【受診率向上の取り組みについてお伺いします】

Q27. 健診受診率向上のために、市町村としてどのような取組をしていますか。（複数選択）

- 1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の実施
- 2 健診受診対象者全員に受診券を送付
- 3 （AI等で）対象者を抽出して受診券や案内を送付
- 4 かかりつけ医等からの健診受診の重要性の説明など健診受診勧奨の依頼
- 5 SNS等を活用した周知
- 6 インターネット等による24時間予約可能なシステムの活用
- 7 土日・祝日や夕方以降等の健診受診時間の拡大
- 8 通いの場等を活用した健診の重要性の説明
- 9 75歳到達者に対する健診の重要性の説明の機会の設定
- 10 自己負担なし
- 11 健診受診者に対するインセンティブ付与（健康ポイント等）
- 12 広域連合が実施している等、市町村としては実施していない
- 13 その他（ ）

6. 後期高齢者の質問票の使用状況

Q28. 後期高齢者の質問票を使用する場面・目的をお答えください。なお、一体的実施の取組において、抽出条件として活用する場合は選択肢1～3の「健康診査の問診」、保健指導の際に活用される場合は選択肢5「保健指導における健康状態のアセスメント」に包含されることを想定しています。（複数選択）

- 1 健康診査の問診（特定健診の問診票に代えて使用）
- 2 健康診査の問診（特定健診の問診票と併用）
- 3 健康診査の問診（後期高齢者の質問票に独自で設問を追加して使用）
- 4 通いの場等での健康状態の評価
- 5 保健指導における健康状態のアセスメント
- 6 かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関での使用の推進
- 7 その他（ ）
- 8 使用していない ※関係部署間においても一切使用していない場合を指します

【Q28で、「1」～「7」（後期高齢者の質問票を使用している）と回答した市町村にお伺いします】

Q28-1. 後期高齢者の質問票をどのように活用（説明を含む）しているかについて、健康診査、みなし健診、通いの場等での活用状況をご回答ください。（複数選択）

	健康診査	みなし健診	通いの場等
1 健診の結果通知表に問診結果を含めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 受診者に後期高齢者の質問票の回答結果の控えを渡している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 後期高齢者の質問票の結果について医師が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 後期高齢者の質問票の結果について医師以外の医療専門職が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 受診者へ説明等をしていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※Webフォームでは項目ごとに「その他」の内容を記載いただけます

Q28-2. 後期高齢者の質問票をどのように保管していますか。（複数選択）

- 1 健康診査での結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 2 通いの場で活用した結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 3 健康診査での結果を紙媒体でのみ保管している

- 4 通いの場で活用した結果を紙媒体でのみ保管している
- 5 その他 ()
- 6 保管していない

【Q28-2で、「1」～「5」（後期高齢者の質問票を保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q28-3. 後期高齢者の質問票を保管している場合、どのように活用していますか。（複数選択）

- 1 保健指導の実施における個人の健康状態の把握・対象者抽出に活用
- 2 個人の行動変容の評価指標の一つとして活用
- 3 事業評価に活用
- 4 地域における健康課題の整理・分析に活用
- 5 分析した結果を周知・広報に活用
- 6 その他 ()
- 7 保管しているが活用していない

【Q28-2で、「1」「2」（後期高齢者の質問票をデータ化して保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q28-4. データ化した結果の入力先をお答えください。（複数選択）

- 1 特定健診等データ管理システムへの入力（KDBシステムへの登録）
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 → システム名 ()
会社名 ()
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他 ()

Q28-5. データ登録のタイミングをお答えください。（単一選択）

- 1 定期的 → 月に1回
- 2 不定期（健診受診者発生ごとなど）

【Q28-2で、「3」「4」（後期高齢者の質問票を紙でのみ保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q28-6. データ化していない理由をお答えください。（複数選択）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分、紙媒体の方が扱いやすい
- 5 作業に必要な人員・時間の不足
- 6 その他 ()

【Q28で、「8.使用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q29. 後期高齢者の質問票を使用していない理由をお答えください。（複数選択）

- 1 特定健診の標準的な質問票を使用している
- 2 健診実施機関のシステムが対応していない
- 3 健診実施機関との調整ができていない
- 4 基本チェックリスト等の他の調査票を使用している
- 5 その他 ()

以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました
エラー等がないかご確認のうえ、Webフォームへの回答入力をお願いいたします。